

我が母校の卒業式にあたり、同窓会を代表してお祝いの言葉を述べさせていただきます。
卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。
保護者の皆さま、心からお祝い申し上げます。

また、校長先生を始めとする先生方のこれまでのご功勞に対し、心より敬意を表します。
卒業生の皆さん、皆さんの同窓会入会を心より歓迎いたします。同窓会会員は今や約23,800人。同窓会は、実業界、政界、官界、学会等、社会の様々な分野で活躍する同窓生の人的ネットワークを活用し、在校生の高校生活がより有意義で豊かなものになるよう、母校発展のためのお手伝いをさせていただいております。皆さんも体験された同窓生講演会の講師になる等、これからは先輩として、母校の後輩達のために同窓会活動に積極的に参加されることを期待します。

さて、私が実社会を経験して初めて分かった事ですが、高校時代の友人、先生方との付き合いは、会社などの実社会でのものとは異なり、世俗的な利害・打算が絡まない、純真で、今思えば、大変大切なものです。勉強や、生徒会・クラブ活動、あの弥生野祭・体育祭、合唱祭、これらを通じて培われた先生、友人とのご縁をどうか大切にしてください。これから厳しい生存競争社会に入っていく皆さんにとって、高校時代の友人と先生は、心の安らぎを与えてくれ、時には厳しいアドバイスをしてくれる「宝物」です。

ところで、私は、少数の天才を除き、人間の能力には大きな差はないと思っています。また、誰にでも得意分野というものがあります。自分の得意分野を見出し、その分野で自分の潜在能力を顕在化する努力をすること、これが大切です。皆さんのこれからの長い人生航路、努力すれば、紆余曲折はあるものの必ず報われる、これが私の人生経験から得た結論です。

その際、「他人を思い遣る心」、「和を貴ぶ心」、「おもてなしの心」と、これらの「心」を培ってきた日本文化に誇りを持ち、大切にしてほしいと思います。このことは、世界では自分の信仰を絶対視するテロが蔓延し、国内でも自分の欲求を抑制できない親による子への虐待が日々報道されなど、心が荒みつつある人類社会で、ますますその重要性を増しています。

昨年、選挙権年齢が18歳に引き下げられました。この夏には参議院選挙があります。皆さんはもう、選挙を通じ日本の政治に責任を負う存在になりました。明日の日本を担う皆さんには、「和の心」を常に胸に秘め、皆さんの素晴らしい能力を、自分だけでなく、日本の社会と国際社会の発展のために活かしてほしいと思います。

これからのご自身の人生を、チャレンジ精神をもって、楽しく頑張り、思い切り生き抜いてください。そして、6年後の2022年、私たちの母校の創立100周年を、同窓生として、共に、祝おうではありませんか。

以上をもちまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。
本日は、まことにありがとうございます。

平成28年3月9日

東京都立足立高等学校同窓会会長 金成秀幸